

## 議事の説明について

### (1) 報告事項

#### ア 南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会委員の就任について 資料1

令和3年1月31日付けで公益財団法人函館市医師会 事務局長 吉崎浩隆氏より、3月31日付けで八雲商工会 事務局長 伊藤鋼咲氏より、5月31日付けで知内商工会 事務局長 松崎 光一氏より所属団体からの退職に伴い辞任届が提出され、辞任されました。

後任として、令和3年2月1日付けで公益財団法人函館市医師会 事務局長 永澤潤一郎氏、4月1日付けで八雲商工会 事務局長 高地正氏、6月1日付けで知内商工会 事務局長 荻部 礼司氏にご就任いただきました。

任期は南北海道定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第4条により前任者の残任期間となるため、令和4年5月16日までとなっております。

#### イ 第2次南北海道定住自立圏連携事業の進捗状況について 資料2

現在の共生ビジョンには、3つの政策分野に7つの連携項目を設け、さらに11の区分に21の事業が登載されております。

この21の事業について、現状値（令和2年度の取組実績等）をもとに、目標値に対する進捗状況を記載しております。

進捗状況につきましては、目標値を達成または、達成に向けて推移しているものもありますが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、多数の事業においてKPIが目標値を下回っている状況となっております。

各事業の詳細につきましては、資料をご覧ください。

### (2) 協議事項

#### ア 第2次南北海道定住自立圏共生ビジョン第3回変更（案）について 資料3

今回の変更においては、新規事業の追加等を行わず、文言修正および時点修正のみを行う予定となっております。

第2次南北海道定住自立圏共生ビジョン（第2回変更）からの変更点は、資料に朱書きにて記載しておりますので、ご意見等ございましたら、別記様式によりご提出をお願いいたします。

主な変更点は以下のとおりです。

ページ	変更内容	変更理由
11	<p>【「4 圏域の概要」中、「(4) 個別分野の概要」】</p> <p>ウ 産業振興</p> <p>当圏域における観光入込客数は、平成28年度(2016年度)の北海道新幹線開業以降、年間13,000千人前後で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による旅行需要の減少などから、上半期では前年同期と比較して▲48.8%と大きく減少しました。</p> <p>令和2年(2020年)7月からは「どうみん割」や「GoTo トラベル事業」の開始もあり、需要の回復傾向が見られましたが、秋以降の感染再拡大の影響を受け、再び減少に転じ、前年比▲39.9%となりました。</p> <p>今後は、コロナ禍における需要の変化を踏まえた新たな観光コンテンツの創出等を行うことにより、当圏域における滞在型観光・広域観光に注力する必要があります。</p> <p>また、外国人観光客については、入国拒否措置等の影響から、前年比▲99.6%となっております。</p> <p>今後は、国際的な人の往来の再開状況を注視しながら、外国人観光客の誘致について検討をしていく必要があります。</p>	<p>令和2年度の状況を踏まえた内容に修正いたしました。</p> <p>北海道の調査によりますと、北海道全体の観光入込客数は前年比▲43.7%でしたが、当圏域の減少率は▲39.9%でした。</p> <p>減少率が緩やかであった要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、道の駅を中心とした観光施設や、「岩部クルーズ」(福島町)の乗船料無料化等による利用客の増加が挙げられております。</p>

今回の書面協議結果を踏まえ、第2次南北海道定住自立圏共生ビジョン(第3回変更)を令和3年10月中に策定する予定としています。